

生徒指導部 便り

No.3

気持ちの良い挨拶を！

7月になりました、3年生は求人票の公開も始まり、進路活動が本格化してきました。今後、校内へも各企業の方が来校される機会が増えるかと思えます。さて生徒の皆さんは相手にとって元気な気持ちの良い挨拶ができていますでしょうか？就職・進学試験の時だけ取り繕うのではなく、日常から行う事を意識し、自然にできる（無意識でできる）ようになりましょう。

私の過去の経験からある生徒に就職試験終了後、話を聞くと「元気に受け応えができた」と手応えありの様子でしたが後日結果は不合格でした。企業の方から話を聞くと「元気がなかった（挨拶が・・・）」との事でした。その生徒は面接室への出入りと面接試験では練習の通りしっかり挨拶や受け応えができていたのですが、会社へ入る際や会社の建物近くで偶然出くわした社員の方へ気持ちのよい挨拶ができていなかったそうです。だからこそ日常、普段が大切です。



いよいよ学校祭です！

昨年度は実施できなかった学校祭が今年は実施できます。多くのクラスが準備に取り組み、大忙しかと思えます。このような行事に皆さんが一生懸命取り組むと知らず知らずのうちに成長できる素敵な経験ができるはずです。

ですが人間関係のトラブルには注意しましょう。熱心になるが故に「〇〇がちゃんとやらない」や「人前で歌うとか踊るとかムリ」というようなネガティブ思考、ワードを発信していませんか？人間は誰でも苦手や不得意があります。ですがそこから逃げずに苦手と向き合うことも大切です。

また今年度はクラスパフォーマンスが「動画」となりました。また緑峰コレクションなど発表を行う生徒も多いと思います。気をつけていただきたいのがそのような発表、作品を勝手にSNSやネット上に公開しないことです。学校祭などでは気持ちも大きくなってしまつてついつい後先を考えずに・・・ということのないようにしましょう。

～生徒指導部より～

前号まではこのスペースに生徒指導部長が感じた事、思っていること自由に書いてきました。今年は不定期で他の生徒指導部員（先生）からお話を頂きます。皆さん、じっくり読んでどの先生か考えてみて下さい。

「また明日から頑張ればいいや・・・」

皆さん、一度はこの言葉を使った事はありませんか？これは今の自分を楽にする魔法の言葉です。しかし、時には自分を追い詰める言葉にもなります。学校生活を例に挙げると部活・宿題・課題などです。明日から頑張ればいいやは=嫌な事を先延ばしにする言い訳です。先延ばしにした結果後でより辛い状況になった経験はありませんか？

学校祭が終わると夏休みになります。今までの自分を見直し終業式までの学校生活、そして夏季休業中に有意義な時間にできるよう頑張りましょう。



なぜ悪口をいってはいけないのか

1. そもそも伝えたいように伝わらないから

「ヘビは性格がわるい」

(そうだったんだ…ヘビには気をつけよう)



(ヘビ普通にいい奴だし)



(僕の悪口も言われてそう…)



なぜ悪口をいってはいけないのか

2. 意図しない伝播の仕方をするから

「ヘビってめっちゃいいわらしいよ」



(ハリネズミはヘビがきらい)

「ヘビは性格がわるい」

(こいつやなやつ〜)

「リスとヘビは仲悪いよ」

(ゴシップ好きだなあ)

「リスにヘタな事言わないほうが良いよ」

(お前にもな…)



なぜ悪口をいってはいけないのか

3. ヘビに伝わるから

「ぶっちゃけお前リスに嫌われてるみたいだよ、この前フクロウと飲んだときにリスから聞いたってフクロウが言ってただけど。」

「ヘビは性格がわるい」「リスとヘビは仲がわるい」 あ、俺の名前出さないでね ! ?



なぜ悪口をいってはいけないのか

4. 面倒な事になって返ってくるから

「なんかリスが陰で僕の事言ってるみたいで…」



! ?



「いや悪口を言ったのではなくて…最近こういうところあるよね～みたいな、ちょっと疲れが出てるんじゃないかってでもそれって僕だけじゃなくてハリネズミとかも言ってるんですよ…僕はヘビの事尊敬してますしおすしあわわわわ…」

